

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	至誠館大学
設置者名	学校法人菅原学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通科目	学部等 共通科目	専門科目	合計		
ライフデザイン学部	ライフデザイン学科	夜・通信	136			136	13	
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学HPにて公表 http://www.shiseikan.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/3bf104bdf81544ce8b8ea675ed702a8e.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	至誠館大学
設置者名	学校法人菅原学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

大学HP上にて公表

[http://www.shiseikan.ac.jp/wp-](http://www.shiseikan.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/77f6cafd5c621e604f590cd674cd849d.pdf)

[content/uploads/2019/07/77f6cafd5c621e604f590cd674cd849d.pdf](http://www.shiseikan.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/77f6cafd5c621e604f590cd674cd849d.pdf)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	カメイ株式会社 相談役	2018.6.1 ～ 2022.5.31 (4年)	学園の経営計画全般 についての的確なアド バイス
非常勤	株式会社藤崎 代表取締役社長	2018.6.1 ～ 2022.5.31 (4年)	学園予算について財 務運営上の的確なアド バイス
非常勤	株式会社バイタルネット 代表取締役社長	2018.6.1 ～ 2022.5.31 (4年)	学園事業計画の事業 構想についての的確な アドバイス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	至誠館大学
設置者名	学校法人菅原学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・授業計画書(シラバス)の作成過程 学内で検討および作成した「シラバス作成の手引き」に基づいて、全教員が作成。 ・授業計画書の作成・公表時期 シラバス作成期間：毎年2月末まで シラバスピアリーディング期間：3月中旬まで シラバス修正期間：新年度オリエンテーションまで	
授業計画書の公表方法	大学HP上にて公表 http://www.shiseikan.ac.jp/syllabus/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) シラバスの作成手引きにおいて、以下の通り記載。 (1) 到達度評価の評価項目 到達目標として、受講した結果どういった力を修得できるのかを学生主体で記載します。 (2) 成績評価等の基準等 評価は、学生が授業の目標を達成したかどうかに対してなされなければなりません。したがって、成績評価のそれぞれの項目は「到達目標」と対応している必要があります。目標が知識の獲得になるのなら、それに対応した方法で行うべきです。複数の目標を掲げたならば、それぞれ目標に対応できる方法を用意する必要があります。 また、至誠館大学ライフデザイン学部規則第13条において、「授業科目の成績は、出席及び試験の成績等を考査して判定し、秀、優、良、可及び不可を持って表し、可以上を合格として単位を与える」ことが示されている。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) ・GPA等の客観的な指標の具体的内容 「至誠館大学におけるGPA制度に関する規定」において、以下の通り記載。 (1) 学期GPA算出の計算式 学期GPA＝(当該学期の履修登録科目の単位数×当該科目のGP)の総和／当該学期における総履修登録単位数 (2) 学年GPA算出の計算式 学年GPA＝(当該学年の履修登録科目の単位数×当該科目のGP)の総和／当該学年における総履修登録単位数 (3) 累計GPA算出の計算式 累計GPA＝(在学全期間の履修登録科目の単位数×当該科目のGP)の総和／在学全期間における総履修登録単位数 ・客観的な指標の適切な実施状況 令和元年度からGPA制度を施行するため、実施できるのは今年度後期以降。「至誠館大学におけるGPA制度に関する内規」において、以下の通り記載。 (1) 学生表彰の選考 (2) 奨学生等の資格審査 (3) 履修登録の上限緩和 (4) 自主退学勧告 (5) 効果的な教育プログラムへの活用 (6) その他学内の関連諸施策の運用	
客観的な指標の算出方法の公表方法	大学HP上にて公表 http://www.shiseikan.ac.jp/guidance/disclosure/grading_criteria

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) ・卒業の認定に関する方針の具体的内容 至誠館大学のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）は以下の通り。 1) 知識・理解 1. 人々の幸せ（福祉）の視点から地域における課題を探究するための知識、技能等を体系的に理解している。 2. 修得した知識体系、技能等を地域社会の文化向上と福祉増進の実現と結びつけて理解することができる。 2) 汎用的技能 1. 世界平和実現に必要な、世界の地域文化を受容する柔軟的理解や関わりができる。 2. 物事を多角的に分析するために、論理的な思考および判断ができる。 3. 多文化共生に求められる豊かなコミュニケーション能力をもつ。 3) 態度・志向性 1. 至誠通天の心（公共的良心）をもち、各界の先駆者（パイオニア）として主体的に行動できる。 2. 他者を尊重し、多様な文化や背景のある人々と協調・協働して行動することができる。 3. 文化・福祉の向上に向けて、誠実に物事に取り組むことができる。 4) 総合的な学習経験と創造的思考力 1. 個人および地域の課題を発見し解決していくために、人間や地域の成長課程を幅広くとらえることのできる教養と実践力を有することができる。 2. 人生で迎える節目ごとに生きることを意味を受け止め直し、自らのライフデザインの公共性を高めていくことができる。 3. 身の回りの人びとの多様な人生の見取り図をデザインし、夢の実現を支えることができる。 ・卒業の認定に関する方針の適切な実施状況 本学を卒業するためには、修業年限（4年以上8年以下）を満たし、基礎教育科目群から44単位以上、専門教育科目群から80単位以上、合計124単位を取得することが必要となる。 卒業判定は原則的に以下の流れで行われる。 (1) 年度末の評価が確定 (2) 評価確定後に開催される教務委員会で卒業判定の原案について審議 (3) 教授会の審議事項として審議	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	大学 HP 上にて公表 http://www.shiseikan.ac.jp/guidance/idea_goal http://www.shiseikan.ac.jp/guidance/disclosure/info-unit

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	至誠館大学
設置者名	学校法人菅原学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	大学HP上にて公表 http://www.shiseikan.ac.jp/guidance/disclosure/report
収支計算書又は損益計算書	大学HP上にて公表 http://www.shiseikan.ac.jp/guidance/disclosure/report
財産目録	大学HP上にて公表 http://www.shiseikan.ac.jp/guidance/disclosure/report
事業報告書	大学HP上にて公表 http://www.shiseikan.ac.jp/guidance/disclosure/report
監事による監査報告(書)	大学HP上にて公表 http://www.shiseikan.ac.jp/guidance/disclosure/report

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:平成31年度 事業計画書 対象年度:平成31年度)
公表方法:大学HP上にて公表 http://www.shiseikan.ac.jp/guidance/disclosure/report/plan-h31
中長期計画(名称: 対象年度:)
公表方法:

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:大学HP上にて公表 http://www.shiseikan.ac.jp/guidance/disclosure

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名	ライフデザイン学部
教育研究上の目的（公表方法：大学案内において公表（資料請求） 大学HP上にて公表 http://www.shiseikan.ac.jp/guidance/idea_goal ）	
(概要)	
○建学の理念	「世界の平和と経済の安定・人類の福祉向上に貢献できる人材の育成」
○大学の基本理念	「至誠通天の心を持って、人類の平和とところ豊かな社会に貢献できる人材の育成」 ※「至誠通天」の四字を以て略語とする。
○使命・目的	
(1) 社会福祉の増進	特に人道教育の推進に重点を置き、潜在的な社会的弱者（たとえば、児童養護施設等退所者、発展途上国からの私費外国人留学生、高等教育を必要とする社会人等）をエンパワーし、社会学・社会福祉学系大学として社会正義を追求し、福祉社会を実現することを具体的内容とする。
(2) 地域貢献	山口県北部および島根県西部における唯一の四年生私立大学として、（1）特に本地域の学習・交流拠点として機能すること、（2）本地域が抱える少子高齢化と人口減少、地場産業の振興と後継者育成および伝統文化の記録・保存等の問題に関する教育研究を通じて、地域住民の健康の維持増進を図るとともに地域社会を活性化できる人材を育成することを具体的内容とする。
教育目的	内発的良心に基づいて能動的に学び考え、公正な将来世代観点をもって自他のライフデザインに取り組むことのできる公共的人間を育成する。
卒業の認定に関する方針（公表方法：大学案内において公表（資料請求） 大学HP上にて公表 http://www.shiseikan.ac.jp/guidance/idea_goal http://www.shiseikan.ac.jp/guidance/disclosure/info-unit ）	
(概要)（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）	
・卒業の認定に関する方針の具体的内容	至誠館大学のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）は以下の通り。
1) 知識・理解	
1. 人々の幸せ（福祉）の視点から地域における課題を探究するための知識、技能等を体系的に理解している。	
2. 修得した知識体系、技能等を地域社会の文化向上と福祉増進の実現と結びつけて理解することができる。	
2) 汎用的技能	
1. 世界平和実現に必要な、世界の地域文化を受容する柔軟的理解や関わりができる。物事を多角的に分析するために、論理的な思考および判断ができる。	
2. 多文化共生に求められる豊かなコミュニケーション能力をもつ。	
3) 態度・志向性	
1. 至誠通天の心（公共的良心）をもち、各界の先駆者（パイオニア）として主体的に行動できる。	
2. 他者を尊重し、多様な文化や背景のある人々と協調・協働して行動することができる。	
3. 文化・福祉の向上に向けて、誠実に物事に取り組むことができる。	

4) 総合的な学習経験と創造的思考力

1. 個人および地域の課題を発見し解決していくために、人間や地域の成長課程を幅広くとらえることのできる教養と実践力を有することができる。

2. 人生で迎える節目ごとに生きることを意味を受け止め直し、自らのライフデザインの公共性を高めていくことができる。

3. 身の回りの人びとの多様な人生の見取り図をデザインし、夢の実現を支えることができる。

・卒業の認定に関する方針の適切な実施状況

本学を卒業するためには、修業年限（4年以上8年以下）を満たし、基礎教育科目群から44単位以上、専門教育科目群から80単位以上、合計124単位を取得することが必要となる。

卒業判定は原則的に以下の流れで行われる。

(1) 年度末の評価が確定

(2) 評価確定後に開催される教務委員会で卒業判定の原案について審議

(3) 教授会の審議事項として審議

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：大学案内において公表（資料請求）

大学HP上にて公表 http://www.shiseikan.ac.jp/guidance/idea_goal)

(概要) (カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針))

本学の使命と教育目的に基づき、「豊かな教養」「公共心」「将来世代観」「深い専門的知識と技能」を養い、学位「学士（ライフデザイン学）」にふさわしい志と知識と実践力を担保する体系的なカリキュラムを編成するために、以下の3つの要素（「学修・研究」「人間形成」「地域貢献」）を定める。

1) [学修・研究]

知識と技能のバランスがとれた学修（文武両道）を通して、地域社会に適応した人々の幸福（福祉）の実現に必要とされる、複眼的（共時的・通時的）視野と公共的良心（至誠通天の心）を養う。その際、特に初年次教育を重視して、基礎的コミュニケーション能力、創造的思考力、論理的判断力、キャリア形成の基礎力（①人間関係形成・社会形成能力、②自己管理能力、③課題対応能力、④キャリアデザイン能力等）を養う。また、卒業研究を通して、エビデンスに基づく客観的分析力と論証力およびプレゼンテーション能力を養う。

2) [人間形成]

広い分野の知識と豊かな教養の修得のために、文化・芸術に幅広く触れる。同時に、パイオニア精神をもって主体的に自他のライフデザインに取り組む姿勢を養うために、数多くの人生モデルに接する。また、心身の鍛錬を通じて、実社会での協調力やリーダーシップ等を養うために、各種スポーツ実技科目を習得する。

3) [地域貢献]

地域の理解と活性化を目的としたフィールドワークを行い、主体性と実践力の向上を図る。その上で、地場産業と連携したインターンシップを通して地域社会への貢献の志と社会人としての自覚を高める。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学案内において公表（資料請求）

大学HP上にて公表 http://www.shiseikan.ac.jp/guidance/idea_goal)

(概要) (アドミッション・ポリシー (入学受入の方針))

本学では、日本人および日本の大学で教育を受ける目的で日本に入国している外国人を対象にして、以下のような人物を受け入れる。

○求める学生像

1) 社会福祉の増進を志す人

本学の建学の理念および基本理念に共鳴して、人々の健康福祉の向上と子どもたちが安心して暮らせる福祉社会の実現を志す人

2) 地域貢献を志す人

本学の建学の理念および基本理念に共鳴して、国内外における地域社会の福祉の向上と文化の発展を志す人

3) 学びに意欲を持つ人

ライフデザインの意味・内容をよく理解して、文武両道の修学を通して一人ひとりの自律的・自立的な社会生活の実現に貢献できる人

○入学希望者に要求される資質と学力

至誠館大学では、社会学・社会福祉学系大学として、以下の能力を期待する。

1. 関心・意欲

国内外で生じている諸問題に関心をもち、人々が共に幸せに暮らすことのできる社会を創りたいという志をもっていること

2. 知識・理解

①国内外で生じている諸問題を理解するために必要な基礎知識、すなわち、高等学校の各教科のうちの5教科（国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語）の知識を修得していること

②入学後の読解・表現・意見交換等を可能とする、「国語総合」及び「国語表現」を十分に修得していること（外国人留学生にも同等の日本語力を求める。）

③ボランティア活動や課外活動、異文化交流等の体験を有すること

○選抜方法

至誠館大学では、「求める学生像」および「入学希望者に要求される資質と能力」を多面的に評価するために、多様な入学者選抜を実施している。

①AO入試

②推薦入試（指定校推薦／専門高等学校・総合学科高等学校指定校推薦／公募推薦）

③一般入試

④大学入試センター試験利用入試

⑤3年次編入学入試

⑥私費外国人留学生入試

⑦私費外国人留学生3年次編入学入試

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学HP上にて公表

<http://www.shiseikan.ac.jp/wp->

[content/uploads/2019/07/56e287fa5bc421ff6c4390b3a255f1d1.pdf](http://www.shiseikan.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/56e287fa5bc421ff6c4390b3a255f1d1.pdf)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	3人	－					3人
ライフデザイン学部	－	14人	5人	4人	6人	0人	29人
	－	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		50人					50人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：大学HP上にて公表 http://www.shiseikan.ac.jp/guidance/t_introduction					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
本学では「教職員能力開発（FD・SD）委員会」を設け、学部長を委員長として教員5名及び事務局長で組織し、PDCAサイクルに基づいた運営を行っている。研修会等は年間に5回程度実施し、全教員の参加目指している。							
H31年度のFD研修会の実施計画は以下のとおりである。							
・教育におけるICT化の現状と課題について							
・留学生の入学から就職までの支援にかかわる研修会について							
－退学及び除籍に関する事項を含める－							
・地域貢献（ボランティアを含む）の在り方について							
・中長期計画整備について							
・教職員連絡会義を開催する							
また、FD研修会後にはアンケートを実施し、次年度の計画にも反映させている。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
ライフデザイン学部	240人	240人	100%	980人	864人	88.2%	10人	47人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	人	人	%	人	人	%	人	人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
ライフデザイン学部	161人 (100%)	1人 (1%)	88人 (55%)	72人 (44%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	161人 (100%)	1人 (1%)	88人 (55%)	72人 (44%)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 進学先：国立大学法人鳴門教育大学大学院 就職先：菊川南陵高等学校、社会福祉法人北九州市福祉事業団、木下の保育、中央出版株式会社アイン保育園、社会福祉法人聖会、社会福祉法人はるか、介護老人保健施設サンライズ 21、社会福祉法人喜成会、カール航空、京王プラザホテル、㈱サニクリーン九州、ライザップゴルフ、陸上自衛隊
(備考) 萩本校における就職率は 100%

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) - 授業計画書（シラバス）の作成過程 学内で検討および作成した「シラバス作成の手引き」に基づいて、全教員が作成。 - 授業計画書の作成・公表時期 シラバス作成期間：毎年 2 月末まで シラバスピアリーディング期間：3 月中旬まで シラバス修正期間：新年度オリエンテーションまで
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) シラバスの作成手引きにおいて、以下の通り記載。 (1) 到達度評価の評価項目 到達目標として、受講した結果どういった力を修得できるのかを学生主体で記載します (2) 成績評価等の基準等 評価は、学生が授業の目標を達成したかどうかに対してなされなければなりません。したがって、成績評価のそれぞれの項目は「到達目標」と対応している必要があります。目標が知識の獲得になるのなら、それに対応した方法で行うべきです。複数の目標を掲げたならば、それぞれ目標に対応できる方法を用意する必要があります。 また、至誠館大学ライフデザイン学部規則第 13 条において、「授業科目の成績は、出席及び試験の成績等を考査して判定し、秀、優、良、可及び不可を持って表し、可以上を合格として単位を与える」ことが示されている。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業の認定に関する方針の具体的内容 至誠館大学のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）は以下の通り。
--

1) 知識・理解				
1. 人々の幸せ（福祉）の視点から地域における課題を探究するための知識、技能等を体系的に理解している。				
2. 修得した知識体系、技能等を地域社会の文化向上と福祉増進の実現と結びつけて理解することができる。				
2) 汎用的技能				
1. 世界平和実現に必要な、世界の地域文化を受容する柔軟的理解や関わりができる。				
2. 物事を多角的に分析するために、論理的な思考および判断ができる。				
3. 多文化共生に求められる豊かなコミュニケーション能力をもつ。				
3) 態度・志向性				
1. 至誠通天の心（公共的良心）をもち、各界の先駆者（パイオニア）として主体的に行動できる。				
2. 他者を尊重し、多様な文化や背景のある人々と協調・協働して行動することができる。				
3. 文化・福祉の向上に向けて、誠実に物事に取り組むことができる。				
4) 総合的な学習経験と創造的思考力				
1. 個人および地域の課題を発見し解決していくために、人間や地域の成長課程を幅広くとらえることのできる教養と実践力を有することができる。				
2. 人生で迎える節目ごとに生きることを意味を受け止め直し、自らのライフデザインの公共性を高めていくことができる。				
3. 身の回りの人びとの多様な人生の見取り図をデザインし、夢の実現を支えることができる。				
・卒業の認定に関する方針の適切な実施状況				
本学を卒業するためには、修業年限（4年以上8年以下）を満たし、基礎教育科目群から44単位以上、専門教育科目群から80単位以上、合計124単位を取得することが必要となる。卒業判定は原則的に以下の流れで行われる。				
(1) 年度末の評価が確定				
(2) 評価確定後に開催される教務委員会で卒業判定の原案について審議				
(3) 教授会の審議事項として審議				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
ライフデザイン学部	ライフデザイン学科	124 単位	⑦・無	1～3 年次 年間 45 単位 4 年次 年間 55 単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況(任意記載事項)		公表方法：大学HP上にて公表 http://www.shiseikan.ac.jp/guidance/disclosure/grading_criteria		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：大学HP上にて公表 <http://www.shiseikan.ac.jp/guidance/access>
<http://www.shiseikan.ac.jp/guidance/disclosure/facility>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
ライフデザイン 学部	ライフデザイン 学科	750,000 円	200,000 円	266,000 円	
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） 1、2年次については、指導担当教員制（チューター制度）を導入しており、学生の履修指導及び就学指導、学生生活指導について個別的に対応している。また、1、2年次に「基礎ゼミⅠ～Ⅳ」を必修科目として配当しており、全体的指導も行っている。 3、4年次については、専門演習ゼミ（3年次）、卒業研究指導（4年次）でゼミ担当教員による個別指導を行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要） 3、4年次については、専門演習ゼミ（3年次）、卒業研究指導（4年次）でゼミ担当教員による進路選択支援を行っている。また、1年、2年次にも関わる職業選択にかかる学外イベント（ジョブフェア等）については、基礎ゼミを通じて学生への周知徹底を図っている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） 指導担当教員体制およびオフィスアワーを設けている。 また、学生生活全般についての相談を受け付ける学生相談室および身体の調子が悪いときや怪我をしたときの簡単な手当てや休養のできる健康相談室を設置している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： 山口県共同大学リポジトリで公表 http://ypir.lib.yamaguchi-u.ac.jp/fb/Index.e
--